
洛南高等学校附属中学校合格

M. Y. さん

洛南高等学校附属中学校合格
須磨学園中学校合格
愛光中学校合格

テーマ 浜学園の講座の勉強方法

「春から洛南生。」

私は小2の夏期講習から浜学園に通い始めました。1歳年上の兄がいるので、勉強方法や時間の使い方などいつも参考にしていました。私は入塾当時から、間違った問題をノートに貼り、苦手問題集を作っていました。そうすることで、テストの前にやるべき課題がすぐ分かる状態でした。また長期の休みごとに、塾からの宿題とは別の課題をこなすようにしていました。小5になると、最レ算数や理科の難問の解き直し、国語の語句などに取り組みました。兄を見ていると、小6になってからでは自分の弱点克服に割ける時間は少ないと感じていたため、早めに取り組めて良かったです。

小6の6月に、神戸女学院から洛南へ志望校を変更しました。算数のより一層の底上げが必要となり、また、既に始まっていた洛南コースの授業にも追いつかなくてはいけませんでした。私は、夏休みにやりきれば、秋以降の自信につながると思い、早朝特訓は全て出席しました。夏期講習の宿題、理科の「暗記テキスト」、副学園長①社会の「①リバーズ」、国語の「サマーアタック」、「40日完成」、洛南の対策資料、算数の女子向け問題などを、やりこみました。秋からは、土曜日に「サタチャレ」、日曜祝日は日曜志望校別特訓やイベントと、月に何日もJR京都駅前教室まで通う日々が始まりました。宿題や間違い直しをこなすには時間がぎりぎりでしたが、移動時間を有効に使うなど工夫しました。12月から直前にかけては、得意分野の充実と間違った問題の解き直しに専念し、課題に優先順位を付けました。そして、悩んだ時はすぐ先生に相談し、週単位で問題点を見直しました。秋以降、先生への質問や相談を重ねてきたので、よりの確に私の弱点や問題点を指摘していただけたと思っています。6年生までに苦手分野を把握し対策する。6年生の夏休みはやりきる。秋にテストで実力を確認し補う。直前は弱点をゼロにする。これが私のやってきた勉強法です。浜学園の先生・教材・アドバイスを信じて日々努力すれば、落ち着いて受験当日を迎えられるはずです。みなさん頑張ってください。